

衆議院内閣委員会ニュース

平成 30. 11. 16 第 197 回国会第 4 号

11 月 16 日（金）、第 4 回の委員会が開かれました。

1 ①一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第 3 号）

②特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 4 号）

- ・宮腰国務大臣、中根内閣府副大臣、高階厚生労働副大臣、一宮人事院総裁及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・塩川鉄也君（共産）及び浦野靖人君（維新）が討論を行いました。
- ・①について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、立憲、国民、公明、共産、自由 反対一維新）
- ・②について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、立憲、国民、公明、自由 反対一共産、維新）

（質疑者及び主な質疑内容）

金子俊平君（自民）

- ・国家公務員の定年延長に関して、給与、働き方、時間帯等を工夫することが考えられるが、政府は、60 歳を過ぎた職員が活躍できる組織の在り方についてどのように考えているのか伺いたい。
- ・国家公務員は深夜残業や休日出勤が常態化していると認識しているが、政府は、国家公務員が働きやすい職場づくりという観点においてどのような改革を行っているのか伺いたい。
- ・国家公務員制度に関しては、多様な人材の確保、定年の引上げ、働き方改革等の多岐にわたる問題が山積していると認識しているが、所管大臣としてこうした課題にどのように取り組むのか、宮腰国務大臣に伺いたい。

岡本あき子君（立憲）

- ・平成 26 年に起きた独立行政法人の障害者雇用状況の水増し問題に対し、当時の厚生労働省は、職員の処分及び刑事告発を行ったが、今回の問題ではなぜ処分を行わないのか、高階厚生労働副大臣に伺いたい。
- ・今回の国家公務員の給与改定について、引上げであると評価しつつも、その引上げ額が少ないと考えるが、一宮人事院総裁の見解を伺いたい。
- ・国家公務員の一連の不祥事を受け、今後、国家公務員がモチベーションを上げて働ける環境整備を整える決意について、宮腰国務大臣に伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・地方機関の若年層の職員が極端に少ない実態によって業務遂行上の重大な支障が生じてきているという人事院の指摘（平成 27 年度年次報告）に対する宮腰国務大臣の受止めを伺いたい。
- ・定年を引き上げる年度においては定年退職者が生じないこととなるため、定員が一定であれば、その翌年度の新規採用者数が大幅に減少することとなるとの人事院の指摘がある中、真に必要な規模の新規採用を計画的に継続する必要性について宮腰国務大臣の考えを伺いたい。
- ・障害者雇用の水増しの背景に定員合理化計画があると言われているが、宮腰国務大臣の受止めを伺いたい。

山岡達丸君（国民）

- ・平成 30 年 8 月、人事院より、国家公務員の定年の段階的な引上げに関する意見の申出が行われたが、政府はこの意見の申出についてどのように受け止めているのか、宮腰国務大臣に伺いたい。
- ・国家公務員の定年の引上げに当たっては、定員や人件費の問題も含め、総合的な施策について検討する必要があると考えるが、宮腰国務大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 29 年度より、国家公務員の扶養手当の見直しが実施されているが、この見直しの目的について、人事院に伺いたい。

森田俊和君（国民）

- ・国家公務員にどのような人生を送ってほしいか、宮腰国務大臣の所見を伺いたい。
- ・超過勤務の縮減については人事院が責任をもって指導し

ていくべきと考えるが、人事院の見解を伺いたい。

- ・超過勤務を縮減するためには、強い意志をもち、具体的な目標を設けて取り組む必要があると考えるが、超過勤務の縮減に向けた宮腰国務大臣の決意とこれからの方向性を伺いたい。

浦野靖人君（維新）

- ・人事院勧告に沿って給与引上げ改定が行われた直近5年の公債発行額を財務省に伺いたい。
- ・人事院勧告の根拠となる民間給与実態調査の対象を大企業の収入の高い者に限定し、都合の良い数字だけを比較しているのではないかと指摘について、人事院の見解を伺いたい。
- ・本年の人事院勧告において、過労死について明示的に盛

り込むべきであったと考えるが、人事院の見解を伺いたい。

日吉雄太君（自由）

- ・今回の改正により、初任給、業績変動時のボーナス等について、民間との給与の較差は是正されたのかどうか宮腰国務大臣に伺いたい。
- ・公務に優秀な人材を確保していくため、どのような形で今後取り組むのか宮腰国務大臣の考えを伺いたい。
- ・政府に対する野党合同ヒアリングにおいて政府から直接的な回答を得られないことがあったことから、公務員には協力する立場に立った職務を心掛けてほしいと考えるが、宮腰国務大臣の考えを伺いたい。